

授業科目	内科学 I				
担当者	藤岡 重和 (実務経験者)				
実務経験者の概要	科目担当者は、医療機関において医師として内科診療業務に従事している。				
学科名	理学療法学専攻	学 年	2年	総単位数	1単位
	作業療法学専攻	開講時期	前期	選択・必修	必修

■ 内 容

循環器疾患、呼吸器疾患、腎、泌尿器疾患の生体内部の障害について、その病因、病態を詳解し、疫学、臨床像、検査と診断、治療、評価、予後などについて幅広く学習する。

■ 到達目標

1. 代表的な循環器疾患、呼吸器疾患、腎、泌尿器疾患について、疫学、予後、病因、病態、臨床像、評価、検査（画像、生理機能検査、血液検査を含む）、診断、治療法を説明できる。
2. 循環器疾患、呼吸器疾患、腎、泌尿器疾患患者のリハビリテーション留意事項を説明できる。

■ 授業計画

- 第1回 内科学総論
 第2回 循環器総論（概要、病因、病態生理、症状、検査と診断）
 第3回 循環器疾患（1）高血圧、虚血性心疾患
 第4回 循環器疾患（2）弁膜症、先天性心疾患、心筋疾患
 第5回 循環器疾患（3）心不全、不整脈、その他
 第6回 循環器疾患（4）大動脈疾患、末梢動脈疾患、静脈、リンパ管疾患
 第7回 呼吸器総論（概要、病因、病態生理、症状、検査と診断）
 第8回 呼吸器疾患（1）感染性肺疾患、アレルギー性肺疾患
 第9回 呼吸器疾患（2）慢性閉塞性肺疾患、間質性肺疾患
 第10回 呼吸器疾患（3）肺腫瘍、肺循環障害
 第11回 呼吸器疾患（4）呼吸不全、呼吸調節の異常、胸膜疾患、その他
 第12回 腎、泌尿器総論（概要、病因、病態生理、症状、検査と診断）
 第13回 腎、泌尿器疾患（1）糸球体疾患、全身性疾患と腎障害
 第14回 腎、泌尿器疾患（2）腎不全、電解質異常、泌尿器疾患、その他
 第15回 総復習（国家試験対策）

■ 評価方法

【科目試験（筆記試験）80%】小テスト 20%

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

各授業では、次回までに学習すべき課題を提示しますので、事前学習を必ずしておいてください。
 また、次回授業までに、前回の授業内容を各自ノートにまとめて十分に復習してください。
 国家試験出題基準のに基づき、実地臨床に則した内容を中心に授業を展開します。
 発展的内容を探求したい時、理解できない内容がある場合は、オフィスアワー等を活用し、担当教員に質問、相談するようにしてください。

■ 教科書

書 名：ナースの内科学 第10版
 著者名：奈良信雄
 出版社：中外医学社

■ 参考図書

書名：標準理学療法学作業療法学 専門基礎分野 内科学 第3版
著者名：大成浄志
出版社：医学書院

■ 留意事項

小テストを含む試験時に不正な行為があったと認められた者については、規程に定める第16条を適用し、当該学期の全ての試験を無効とし、失格（留年）とする。

■ 講義受講にあたって

内科学を学習するにあたって、内臓解剖学、生理学、病理学全般をよく理解しておく必要があります。授業の前に、十分復習をしておいてください。感染症については、三年生後期の感染症学において詳しく学習します